

仕様

品番	DCL-35483L	DCL-35483N
定格電圧	交流(AC)100V	
周波数	50/60Hz兼用	
消費電力	69.0W	
入力電流	0.70A	
適合ランプ	FHC電球色丸形蛍光灯 FHC34EL × 1灯 + FHC20EL × 1灯 G10q	FHC昼白色丸形蛍光灯 FHC34EN × 1灯 + FHC20EN × 1灯 G10q
適合保安球	ナツメ球 5W E-12	

保管・廃棄

保管の際は下記の要領で行ってください。

購入時と同じ状態で梱包してください。

梱包ケースは、ケース表示に従い、正しい方向で保管してください。

梱包ケースの上に物を置かないでください。

梱包ケースに局部的な外圧をかけないでください。

常温(20 ± 15)、常湿($65 \pm 20\%$)の場所に保管してください。

使用済みの照明器具は、所轄の地方自治体が定めた方法にもとづき、適正に処理してください。
なお、廃棄の際にはケガをしないよう手袋等をご使用ください。

商品についてのご相談・お問い合わせ

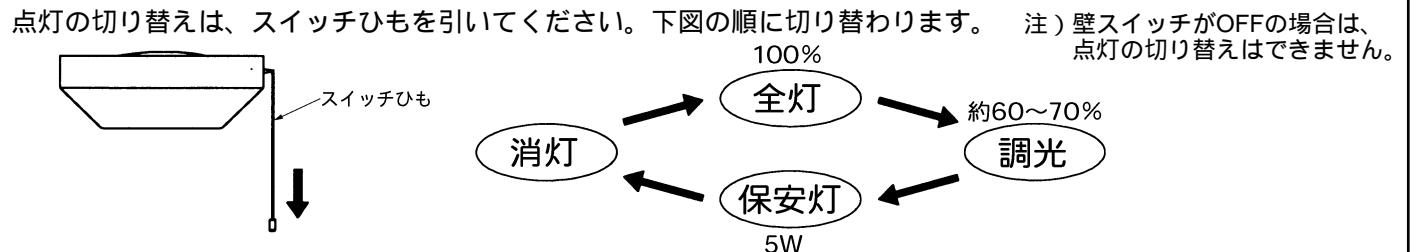
商品のお問い合わせ、修理、アフターサービスのご相談は、器具本体に貼付している器具銘板で品番をご確認のうえ、お買い上げいただきました販売店、工事店、もしくは相談窓口までご連絡ください。

大光電機株式会社 本社
〒541-0043
大阪市中央区高麗橋3-2-7
高麗橋ビル
TEL (06)6222-6240 (代)

相談窓口	商品についてのご相談	修理・アフターサービス (ダイコーエンジニアリング株式会社)
北海道地区	TEL (011)561-8067	TEL (011)561-8152
東北地区	TEL (022)284-5611	TEL (022)284-5611
東京地区	TEL (03)5600-7806	
東関東地区	TEL (048)652-1015	TEL (03)5600-3445
西関東地区	TEL (045)941-6310	TEL (045)941-6331
中部地区	TEL (052)821-6276	TEL (052)821-7105
関西地区	TEL (06)6711-2840	TEL (06)6971-4443
中・四国地区	TEL (082)247-6711	TEL (082)246-2162
九州地区	TEL (092)531-3164	TEL (092)531-4744

電話番号は変更になりますのでご了承ください。(平成17年4月1日現在)

ご使用方法

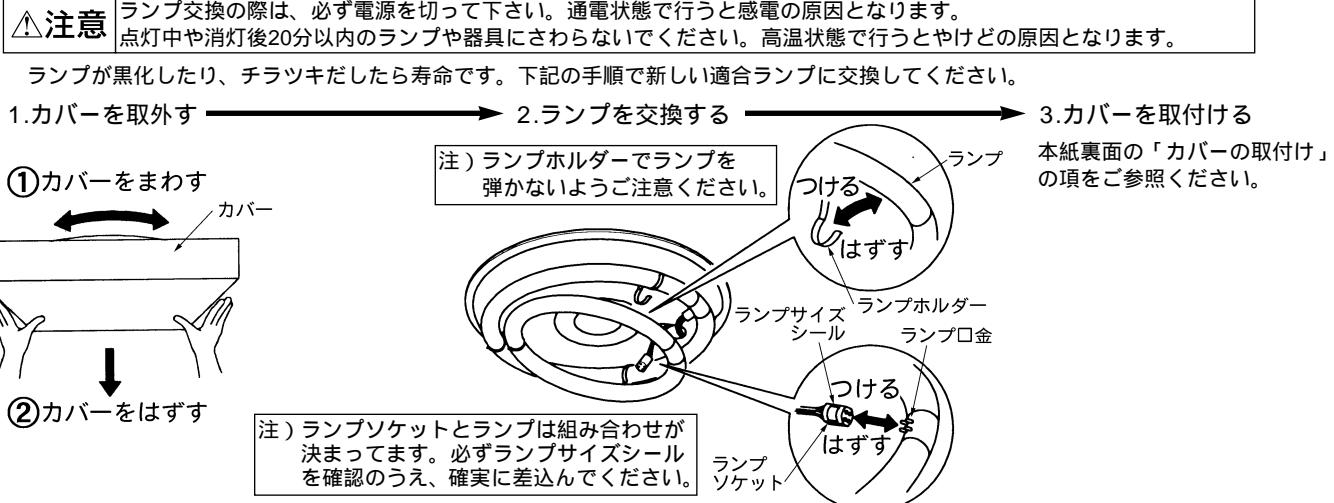


使用上のご注意

電力線搬送を使用した機器と電源を共用すると、電力線搬送機器が正常に作動しない場合があります。
インバータ器具の近くで、ほかの光高周波方式リモコン器具を使用しないでください。誤動作の原因になります。
インバータ器具の近くで、ラジオ(AM)を使用しないでください。雑音の原因になります。
調光比は約60~70%ですが、室温、器具によって多少変化します。

調光状態になるまで、数秒かかることがあります。
室温が極端に低いと、段階調光状態では点灯しないことがあります。
室温が低い場合は、100%点灯でご使用ください。
器具に殺虫剤等をかけないでください。カバー、グローブ等の落下・変質・変色の原因になります。
点灯時、消灯後には、若干のきしみ音が発生しますが、異常ではありません。

ランプ交換方法



点検とお手入れ方法

6ヶ月に1回程度、清掃および点検を行うことをおすすめします。点検は、次の項目にもとづいて行ってください。

(1) 点検事項

正常に点灯しますか。
スイッチは、正常に切替りますか。
天井との取付け部、各部品の合わせ目に異常なガタつき、ゆるみはありませんか。
可動部は異常に動作しますか。
異常な臭い、音、発熱はありませんか。
ガラス、プラスチック部品等に、ヒビ、割れ、変形等が発生していませんか。
不明な点および異常を感じた場合は、速やかに電源を切って、販売店、工事店、または当社もよりの支店にご相談ください。

(2) 清掃

器具やランプにホコリがつくと、明るさを損なうばかりでなく、器具自体の寿命を短くします。

清掃箇所	清掃方法
金属メッキ処理 金属塗装処理	傷つきやすい部分ですから、柔らかい布で1~2回軽く拭いてください。
アクリル プラスチック	30~40の薄めた中性洗剤を使用し、洗剤が残らないようによく水洗いをしてそのまま乾かしてください。乾いた布で拭くと静電気が生じ、ホコリがつきやすくなります。(但し、金属部は除く)
木・竹・籐 布・和紙	こまめにハタキや柔らかいハケ、ブラシでホコリを落とし、目の細かい柔らかな布で軽く拭いてください。
ガラス	中性洗剤またはスプレー式ガラスクリーナーを使用し、スポンジ等で水洗いの後、自然乾燥してください。消しグローブは素手で触ると指紋がつきます。ゴム手袋等を使用してください。

ガソリン、シンナー、みがき粉、サンダーベーパー、たわし等は使用しないでください。

異常時の処置

定期点検により発見された不具合のうち、消耗部品(ランプ、電池等) 交換部品(パネル、パッキン等) は、速やかに販売店、工事店にご相談のうえ、適合品と交換してください。
また、安定器、配線部品等は、定格電圧、常温、1日当たり10時間使用を想定した場合、約8~10年が交換の目安です。新規の器具と交換するか、または当社もよりの支店にご相談ください。



取扱説明書

保存用

お客様へ

工事店様へ

ご使用前にこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
器具の取付工事は、必ず工事店・電器店(有資格者)に依頼してください。
施工の前にこの説明書をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
この説明書は必ずお客様にお渡しください。

安全上のご注意

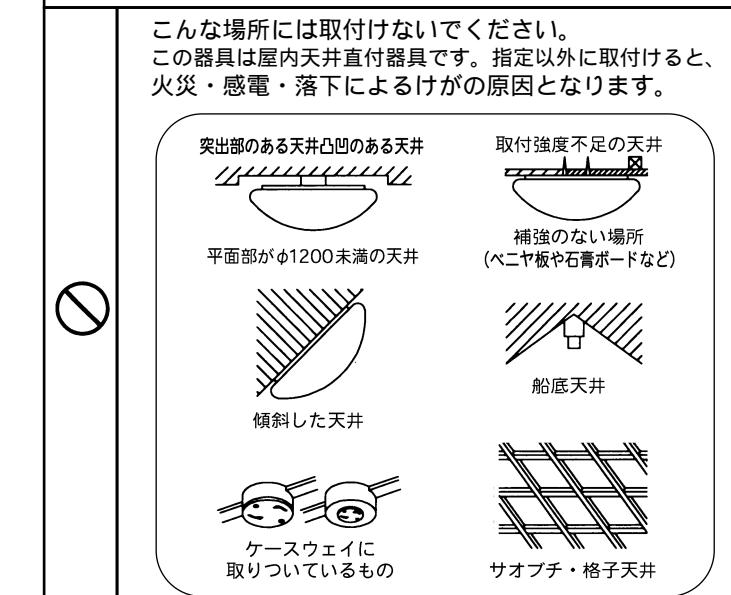


誤って使用しますと、事故により使用者が重傷を負う危険があります。

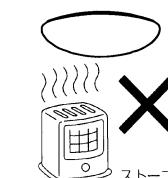


誤って使用しますと、使用者が傷害を受けたり、物的損害の発生が想定されます。

！警告



温度の高くなるものを器具の真下に置かないでください。
器具の真下にストーブ・ガス機器などを置かないでください。
火災の原因となります。



器具表示または説明書に従って施工してください。
器具本体表示または本説明書に従って施工してください。
落下・感電・火災の原因となります。

異常を感じた場合速やかに電源を切ってください。
落と・感電・火災の原因となります。
工事店・お買い上げの販売店、または当社もよりの支店にご相談ください。



交流100ボルト以外では使用しないでください。
過電圧を加えると加熱し、火災・感電の原因となります。

！注意

電気工事が必要な場合は、電気設備の技術基準に従って有資格者が行ってください。
一般の方の工事は法律で禁止されています。
落下・感電・火災等の原因となります。

浴室などの水や湿気の多い場所や屋外で使用しないでください。
この器具は非防水です。火災・感電の原因となります。

点灯中や消灯後20分以内のランプや器具にさわらないでください。
ランプやその周辺が過熱しており、やけどの原因となります。

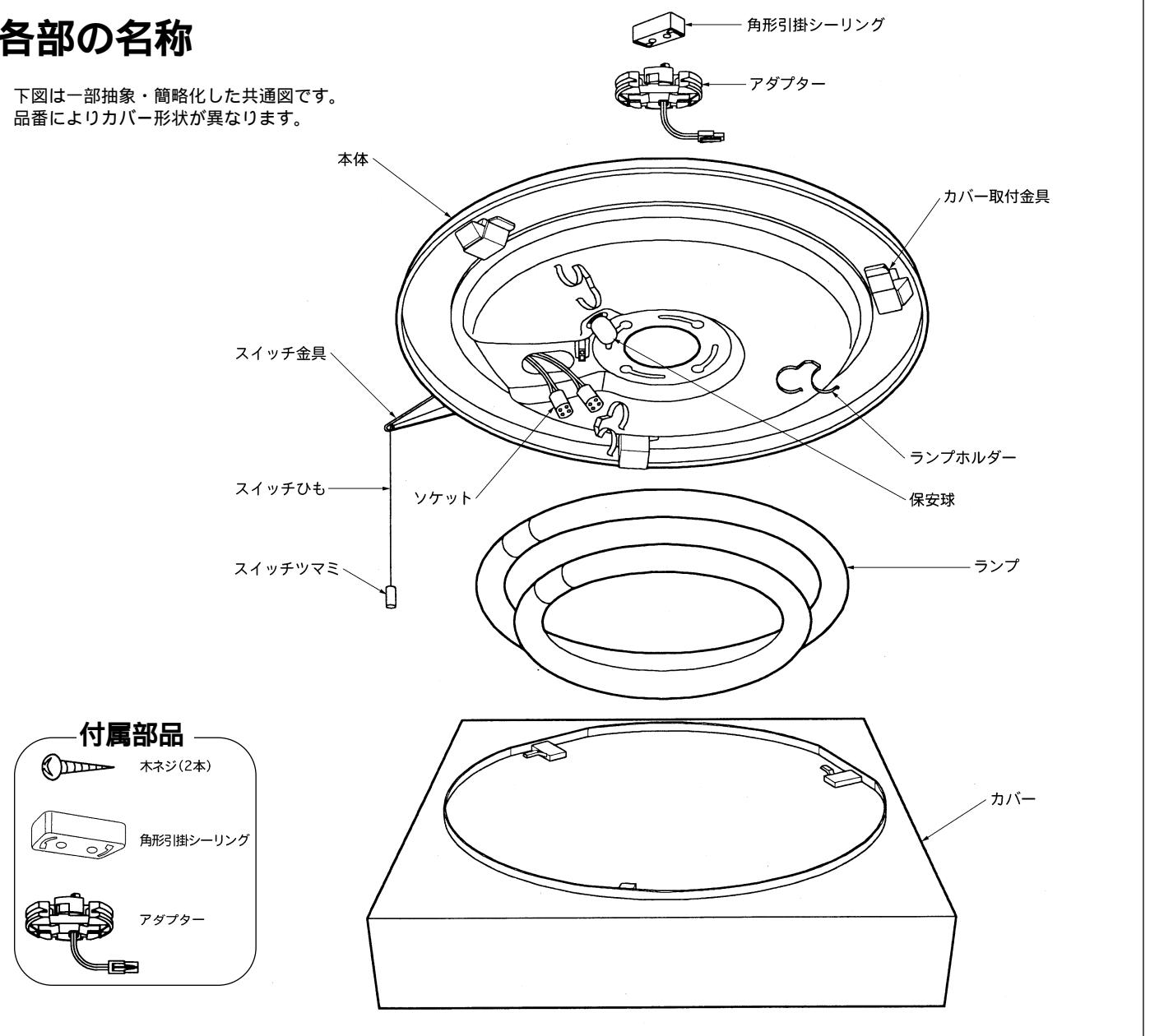
照明器具には寿命があり、照明器具の取り替え時期の目安は、通常の使用状態においては、約8~10年です。外観に異常がなくとも内部の劣化が進行しています。点検・交換をお勧めします。
器具本体表示または本説明書に従って、6ヶ月に1回定期的に保守・点検を行ってください。また、3~5年に1回は有資格者に点検を依頼してください。点検を行わずに長時間使用しますと、まれに、発煙、発火、感電などに至る恐れがあります。
一般的な使用条件に比べて周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。
使用条件は、周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯。(JIS C8105-1解説による。)

こんな場合は、電気設備の技術基準にしたがって接地工事を行ってください。
工事店、電器店に依頼してください。

1.8m以下
床面より1.8m以下

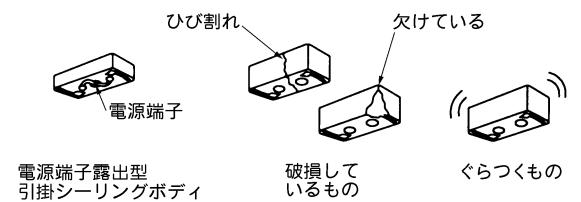
各部の名称

下図は一部抽象・簡略化した共通図です。
品番によりカバー形状が異なります。



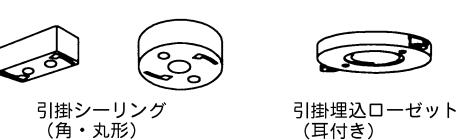
1. 配線部品の確認

使用できないもの



火災・感電・落下によるけがの原因となります。
配線部品の交換が必要です。配線部品の交換には資格が必要です。工事店・電器店に依頼してください。

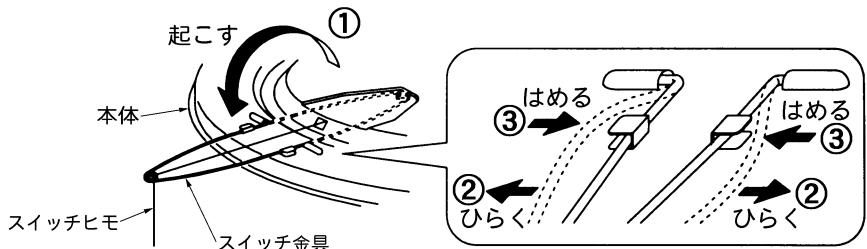
使用できるもの



配線部品は十分な強度で取付けされていることを必ず確認してください。
火災・感電・落下によるけがの原因となります。

2. スイッチ金具の取付け

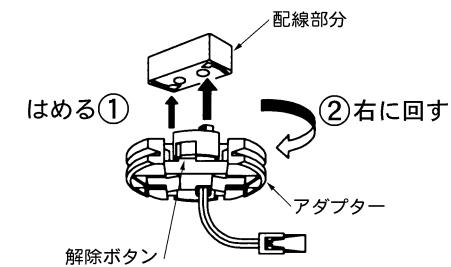
スイッチ金具を本体に確実にはめ込んでください。



3. アダプターの取付け

アダプターを配線部品に確実に接続してください。

注) 取付けが不十分ですと火災の原因になります。



アダプターの取外し

アダプターの解除ボタンを最後まで押さえ込み、左に回して取り外してください。

4. 本体の取付け

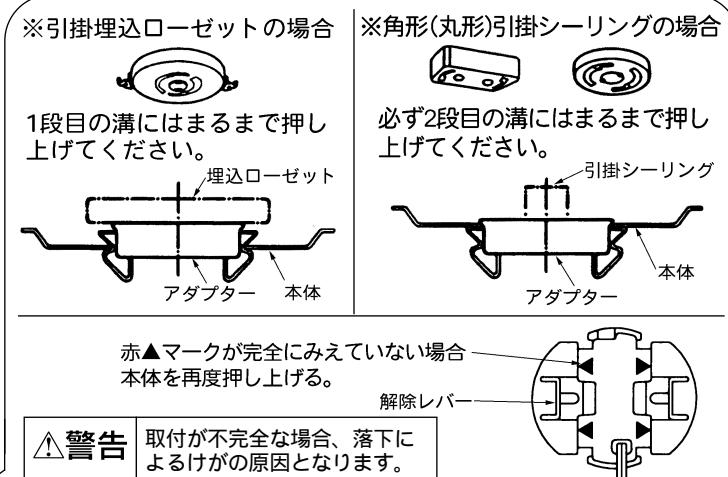
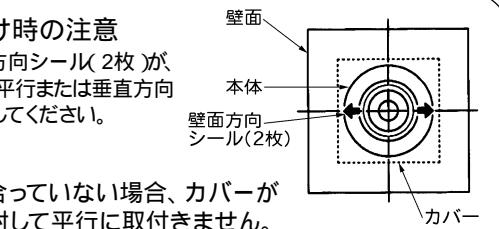
本体取付け時の注意

本体の壁面方向シール(2枚)が、壁面に対して平行または垂直方向に向くようにしてください。

注) 方向が合っていない場合、カバーが壁面に対して平行に取付けません。

本体をアダプターに合せて、天井に密着するまで押し上げてください。

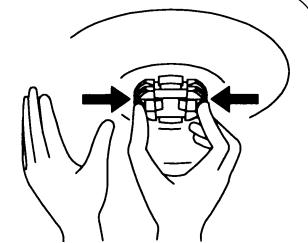
注) 取付けの際ランプを持たないでください。



本体の取外し

本体センター穴付近を片手で押上げながら、解除レバーを中央側につまんでください。

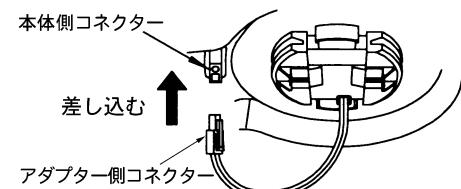
△警告 指定以外の取外しは、落下によるけがの原因となります。



5. 電源の接続

コネクターを確実に差し込んでください。

注) 取付けが不十分ですと点灯しません。
必ず点灯の確認を行ってください。

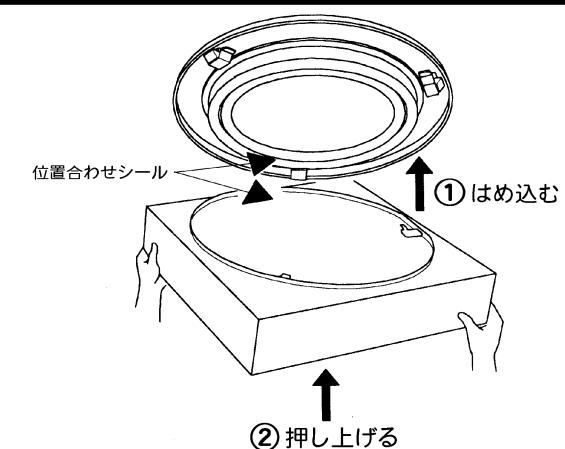


6. カバーの取付け

△警告 破損したカバーは、使用しないでください。
落下によるけがの原因となります。

本体とカバーの位置を合せてはめ込んでください。
音がするまで上に押し上げてください。
カバーが確実に取付いていることを確認してください。

注) 取付けが不完全な場合、落下によるけがの原因となります。



傾斜天井への取付けについて

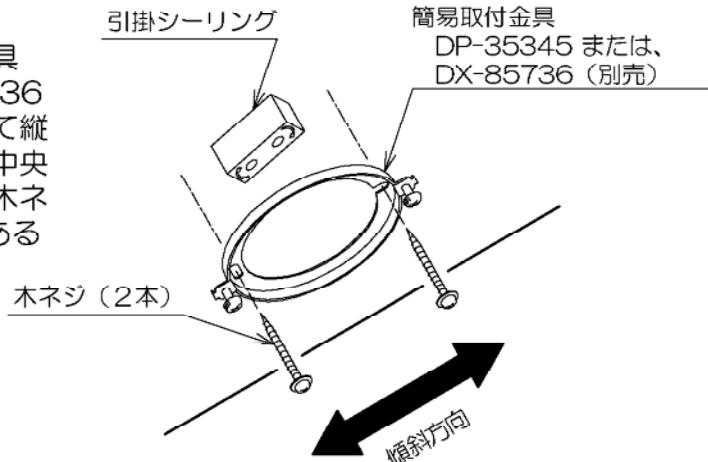
⚠ 警告

この器具は単体での傾斜天井への取付けはできません。

傾斜天井（45°まで）へ取付けの際は、下記の条件をおまもりください。
指定以外の取付けは、落下によるけがの原因となります。

- 必ず別売の簡易取付金具 DP-35345または、DX-85736を使用してください。

- 取付用木ネジおよび簡易取付金具 DP-35345 または、DX-85736（別売）の耳を傾斜天井に対して縦方向にして、引掛シーリングが中央に入るよう、簡易取付金具を木ネジ（2本）で天井面の補強材のある位置に取付けてください。



- 器具本体の矢印シールが傾斜方向の下側にくるように取付けてください。
- 取付けられる傾斜天井の角度は水平面から45°までです。

